

# 組織力育成委員会事業計画

組織力育成委員会 委員長 久保 辰徳

青年会議所という組織には、理念があり、我々の運動の基盤となっています。2010年代運動指針は真岡青年会議所の活動を10年間支えてきました。移り変わる時代の中で理念を受け継いでいくとともに、未来へのビジョンを見据え、挑戦し続けていくことが求められています。未来に向けて新たな情熱の根源となる2020年代運動指針を創り上げるとともに、メンバーの可能性を引き出すことができる組織環境の確立が必要です。

まずは、組織にとって理念の重要性、社会情勢の変化、真岡青年会議所の歴史を理解するために、組織会議を開き、青年会議所のミッション・ビジョン・宣言・綱領、時勢の変化、真岡青年会議所の歴史を改めて理解することにより、組織としての指針を考える基盤を創り上げます。そして、運動指針についての理解を統一するために、2010年代運動指針が策定された経緯を理解し、検証することによって、新たな運動指針を創り上げていく機運を高めます。さらに、2020年代運動指針を確立するために、運動指針の発表を行い、意義の共有をすることにより、真岡青年会議所の進むべき方向性を統一します。また、2020年代運動指針をこれから継承していくために、継承できる仕組みを考え、伝えていける環境を創出します。そして、真岡青年会議所がメンバーの可能性をより広げていける組織として成長していく為に、メンバーの成長機会の提供の場を見直し、様々な可能性を持たせる事業を行うことによって、活動への参加意欲を高めるとともに、よりメンバーの成長に対して意識を向けた組織体制と可能性を広げていけるメンバーを醸成します。

青年会議所のメンバーとして我々が所属する組織の理解を深め、組織としての進むべき方向性を統一し、愛する地域のためそして自己成長のために同じ目的を持つ仲間たちと未知なる可能性に勇往邁進し続けていくことができる一体感のある組織を実現します。

## <事業計画>

1. 真岡JCの基礎となる運動指針の確立
2. 人の可能性を広げていく事業の実施
3. 全員で動く実働的な会員拡大
4. 2021年 とちぎ宇都宮大会へ向けて日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力